



なびねこ

今回は創刊10号の特別編！
『おくのほそ道』旅立ちの地である深川を、
教科書キャラクターのなびねこと巡ります。

なびねこと行々！
おくのほそ道

深川編



編集O 編集K 編集I



① 江東区芭蕉記念館

芭蕉稲荷神社で発見された石の蛙をはじめ、芭蕉や後世の俳人の関連資料が展示されており、3階には図書室もあります。芭蕉の人物像や深川との繋がりについて、深く楽しく学べます。



芭蕉記念館には、芭蕉自筆といわれている『おくのほそ道』のレプリカもあるよ。達筆でびっくり!!



③ 芭蕉稲荷神社

かつて芭蕉庵は、この神社の辺りにあったといわれています。1917(大正6)年の大津波の後に出土した芭蕉遺愛の石の蛙は、現在は江東区芭蕉記念館に移されています。

④ 清澄庭園

庭園の奥に、芭蕉の句碑が建立されています。ここに刻まれている「古池や蛙飛びこむ水の音」の句は、芭蕉が『おくのほそ道』に旅立つ3年前(1686年)に深川で詠んだ句です。



⑤ 採茶庵跡

芭蕉は庵を手放した後、門人でありパトロンの杉山杉風を頼って、一旦ここに移り住みました。

② 芭蕉庵史跡展望庭園

芭蕉記念館分館の屋上、隅田川すみだがわと小名木川おなぎわを望む園内に、芭蕉の坐像が鎮座しています。17時になると芭蕉像がゆっくりと90度回転して向きを変え、その後22時までライトアップされます。



回転する様子は、下の二次元コードから(江東区芭蕉記念館のInstagramより)▼



より詳しい情報は
こくごnoteを
ご覧ください!

